
京都大学「医学領域」産学連携推進機構、神戸市、神戸医療産業都市推進機構とともに推進：

バイエル薬品、シスメックス、米国 Ikigai Accelerator 社、米国 CLSI バイオベンチャー企業支援プログラム 「Kansai Life Science Accelerator Program」を開始

- バイオベンチャービジネスをリードする米国の投資家・起業家が実務経験に基づきアドバイス
- 2020年7月22日（水）まで参加企業を募集中

大阪、神戸、米国カリフォルニア、2020年7月10日 — バイエル薬品株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：ハイケ・プリンツ、以下バイエル薬品）、シスメックス株式会社（同：神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO：家次恒、以下シスメックス）、米国バイオベンチャー支援企業 Ikigai Accelerator 社（同：カリフォルニア州、CEO：Yuko Terasawa）、およびライフサイエンス分野のリーダー企業・人材と強固なネットワークを持つ米国 NPO 法人 California Life Sciences Institute（本部：同、President & CEO：Lori Lindburg、以下 CLSI）は、京都大学「医学領域」産学連携推進機構、神戸市、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構（以下、神戸医療産業都市推進機構）とともに、ライフサイエンス分野のベンチャー企業を育成・支援するプログラム「Kansai Life Science Accelerator Program」を開始することをお知らせします。

近年、より革新的な医薬品を創出するために、製薬企業、大学などの研究機関やベンチャー企業が、それぞれ有する知識や技術を融合して創薬研究を推進するオープンイノベーションが世界的に活発化しています。こうした中、日本においてもイノベーションの源泉としてのベンチャーエコシステムの重要性が増しており、バイオベンチャー企業の育成・支援が急務となっています。

バイエル薬品は、シスメックス、神戸市や神戸医療産業都市推進機構と提携して、医療関連企業、高度専門病院、研究機関が集積する神戸医療産業都市においてオープンイノベーションを共同で推進し、ライフサイエンス分野で新たな技術やビジネスモデルを創造するエコシステム形成に貢献することを目指しています。バイエル薬品はまた、京都大学産官学連携本部とドイツ・バイエル社との契約を通じてもオープンイノベーションを推進しています。この度、投資家との豊富なネットワークを活用したバイオベンチャー支援のノウハウを持つ Ikigai Accelerator 社、およびバイオベンチャー企業向け教育プログラムを提供する CLSI が参画し、ライフサイエンス分野のベンチャー企業を対象とした新たなメンタリングプログラムを開始します。

本プログラムでは、複数名の米国のライフサイエンスビジネス専門家（エンジェル投資家*、シリアルアントレプレナー**）が各参加企業の専属アドバイザーとして選任され、それぞれの企業が持つ課題に対して実務経験に基づいたメンタリングを行います。プログラム参加企業は、10週間のアドバイスセッションでのスキル習得に続き、投資家やビジネスパートナーを招いたピッチイベントでの実践経験も得ることができます。

バイエル薬品、シスメックス、Ikigai Accelerator 社、CLSI および共催各団体は、本プログラムを通じてベンチャー起業家・経営者を育成・支援するとともに、神戸ならびに関西のベンチャーエコシステム構築に寄与したいと考えております。詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

「KANSAI Life Science Accelerator Program 2020」の概要

| | |
|----------|---|
| 主催： | バイエル薬品、シスメックス、京都大学「医学領域」産学連携推進機構、Ikigai Accelerator 社、CLSI、神戸市、神戸医療産業都市推進機構 |
| 参加対象者： | 書類選考を通過したバイオベンチャー企業 5~6 社程度 |
| 応募受付： | 2020 年 7 月 22 日（水）まで |
| 選考結果： | 同 8 月初旬通知予定 |
| プログラム開始： | 同 9 月予定 |

- * ベンチャー企業を育てるために、資金の提供や経営に関する助言を行う個人投資家
- ** 何度も続けて新しく事業をおこす起業家。連続起業家

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。その製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活に貢献しています。同時に、収益力を高め、技術革新と成長を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に尽力し、バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。グループ全体の売上高は 435 億ユーロ、従業員数は 104,000 名（2019 年）。設備投資額は 29 億ユーロ、研究開発費は 53 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.byl.bayer.co.jp/ をご参照ください。

シスメックスについて

グループ企業理念「**Systemex Way**」において「ヘルスケアの進化をデザインする。」をミッションに掲げ、医療の発展と人々の健やかな暮らしに貢献しています。血液や尿などを採取して調べる検体検査に必要な機器・試薬・ソフトウェアの研究開発から製造、販売・サービス&サポートを一貫して行っており、190 以上の国や地域の医療機関へ製品をお届けしています。近年は、ライフサイエンス領域へと事業を拡大しており、独自のテクノロジーを用いて新たな検査・診断価値を創出し、一人ひとりに最適な医療の実現や、患者さんの負担軽減・QOL 向上に貢献することを目指しています。詳細は、<https://www.systemex.co.jp/> をご参照ください。

Ikigai Accelerator について

Ikigai Accelerator は、「日本のエコシステムおよび日本発グローバル製品開発の促進」を企業理念に掲げて 2019 年に米国シリコンバレーで設立された、バイオベンチャー支援企業です。共同創業者 7 名の持つライフサイエンスのバックグラウンド、人脈やノウハウを活用し、さらにキャピタル部門である G4S Capital を通じた投資支援により、日本発の世界に通じるバイオ産業の発展を支援します。<https://g4scapital.com/accelerator-program>

California Life Sciences Institute (CLSI) について

CLSI は、米国ペイエリアをはじめ、ヨーロッパやアジアのバイオベンチャー企業を対象にグローバルビジネスにおける教育プログラム（CLSI FAST Advisory Program）を提供している非営利団体（NPO）です。2013 年のプログラム開始以来、これまでに 69 社がプログラムを修了し、総額 10 億ドル以上を調達しています。 <http://califesciencesinstitute.org/>

バイエル薬品株式会社

シスメックス株式会社

Ikigai Accelerator 社

California Life Sciences Institute

2020 年 7 月 10 日、大阪、神戸、米国カリフォルニア

将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている場合があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。